

# すぐそばにある里山 山田川自然の里

市の中心部から車で10分ほど。山田川の溪流沿いに、その場所はあります。

「山田川自然の里」は地元有志と市が協力し、3年間をかけて荒地を整備。平成21年に開園しました。

市民農園のほか、農業体験や自然観察会、収穫体験などさまざまなイベントを行っています。

また、川沿いには散策路も整備されています。

ぜひ、お出かけください。

申込み・問合せ 農政課

☎0983・2652



里山を未来の子どもたちに残していくために、私たちと一緒に活動しませんか？

「山田川グリーンツーリズム研究会」では、里山の保全活動のほか、大人から子どもまで楽しめる収穫体験などを開催しています。会員随時募集中です。  
●ブログ「やまぐり通信2」(<http://yamaguri2.i-ra.jp>)



▲アクセスマップ

## 梅の収穫体験 参加者募集



収穫した梅は、4kg程度お持ち帰りいただく予定です。  
※天候・梅の生育状況などにより変動します。なお、持ち帰り用の袋は用意します。

とき 6月3日(出) (①午前9時②午前10時30分)、6月4日(日) (③午前9時④午前10時30分)

ところ 山田川自然の里梅園

定員 各回30組程度※応募多数時抽選

費用 1組1,000円

申込み 5月19日(金)までに電話で申込み

※参加人数、希望する日と時間(第1・第2希望)を伺います。

## おひさまはらっぱ 参加者募集



親子で野遊びや畑づくり、絵本などの活動を通じ、四季折々の里山を楽しみます。

とき ①5月24日(水)②7月12日(水)③9月13日(水)④11月15日(水)⑤平成30年3月14日(水) 午前10時～午後1時※小雨決行

ところ 山田川自然の里(管理棟前広場集合)

対象 全回参加できる人で、0歳～未就園児とその保護者

定員 15組※応募多数時抽選

参加費 各回1人500円※保険料・おやつ代など

申込み 5月16日(水)までに電話で申込み

【イベント参加時の持ち物(服装)】汚れてもよい服装(長袖・長ズボン)、長靴、軍手、帽子、タオル、飲み物、着替えなど

郷土資料館では企画展「三四呂人形-これまでとこれから-」が5月28日(日)まで開催されています。

# 歴史の小箱

No.348

山間の村に伝わるお祭り  
— 龍爪講 —  
Ryūkyūkyō



▲オフルマイの始まり

今回は箱根西麓<sup>せいりく</sup>の集落で続く村の祭りを紹介します。  
三月中旬、市内山間部に位置する伊豆佐野・小沢<sup>こざわ</sup>・元山中の各集落では、「リュウソウサン」と呼ばれるお祭りが行われます。これは龍爪神社の愛称で、古来、狩猟などで鉄砲を扱う人々の信仰を集めていました。鉄砲による災難を払うと信じられていたことから、「弾除<sup>たまよ</sup>け」の御利益があるとされ、特に戦時中はあつく信仰されました。ここでは元山中のリュウソウサン（龍爪講）について紹介します。



▲お札すり

元山中のリュウソウサンは、その年の当番が集落から少し離れた場所にある龍爪神社にお参りすることから始まります。当番は集落にある十世帯が交代で務めます。以前はほかの集落も同じ日に祭りを行っていました。が、今は元山中集落のみが伝統の日付を守っています。  
当番が山神社内の龍爪神社へお神酒<sup>みき</sup>を供えてお参りしたのち、公民館へ向かいます。公民館にはオフルマイ（祭り後の親睦会）が用意されており、主に各家の世帯主が夕方から集まってお神酒を頂き、宴会を開始します。  
このとき必ず膳<sup>ぜん</sup>に上るのが赤飯にぎり<sup>あかひん</sup>とサバの煮つけです。サバは魚がぜいたくだった頃の名残かもしれません。現在は公民館で行いますが、昭和二十年



▲完成したお札

代ごろまでは山神社の社の前で、各家庭一品ずつ持ち寄ってのオフルマイでした。折った小枝を箸代わりに、葉っぱにのせた赤飯にぎりを頂く、という素朴な宴会だったそうです。  
宴もたけなわとなった頃、お札<sup>かえい</sup>すりが始まります。版木は嘉永五年と書かれた箱に入っており、幕末から使い続けているものと思われます。弾除けの御利益があると言われるこのお札を貰うため、戦時中は遠方から来る人も多かったそうです。が、現在は集落内の家庭分のみ、すっています。多くの家庭では台所に貼っておくそうです。  
元山中の人々は子どもころからの知り合いばかりで、わいわいと賑やかです。「リュウソウサン」が途切れることなく続けられている理由は、こうして楽しみの一つにしているからなのかもしれません。

ぼくのわたしの  
おじいちゃんおばあちゃん

ぼくのおばあちゃんは、毎日事務所  
所で仕事をしていて、ぼくたち兄弟  
が学校から帰ると、お帰りと声をか  
けてくれます。  
花が大好きで、事務所の花壇に花  
を植えて、毎日楽しそうに水をあげ  
ています。季節ごと植える花を変え  
ているので咲く花はさまざまです。  
また、休みの日になると、公園ま  
で散歩に連れて行ってくれます。妹  
と弟は、とても楽しそうです。もち  
ろんぼくも楽しいです。いつもやさ  
しいおばあちゃん、長生きをして、  
ずっと元気できてね。

※それぞれのお名前は直筆です。



藤田小夜子（72歳・徳倉）  
藤田伶（徳倉小6年）